

【記者からの質問】

S T S / 県都佐賀市を候補地にする考えに至ったのは、いつ頃のことか。

知事 / 令和6年に入り、県立大学の基本構想を策定。専門家チームを立ち上げ、山口和範先生たちと教育方針の基本的な考え方と施設機能の考え方を整理した。そこで、「コンパクト」「他大学との連携」などキーワードが出るにつけ、やはり県都佐賀市を検討するべきとの考えになった。佐賀市と決めたわけではない。

そうした中、佐賀市から周辺環境の整備を含めた具体的な提案を、熱意をもってお話いただいた。この1か月くらいで協議が進み、総合庁舎に決まった。

S T S / 佐賀市からの具体的な提案はプランZと同じなのか、それとも提案がきっかけでプランZになったのか。

知事 / 佐賀市からは、別の提案があった。メリットやデメリット、今後の状況、県の考え方を整理する中、総合庁舎になった。

S T S / 具体的な時期をあげたのは、そこが転換点だという認識なのか。

知事 / 6月の終わりに佐賀市から、具体的に何をして、その場合できることとできないこと、といった提案をしてもらった。このような話は、地元と設立主体の連携がなければ前に進まない。

昨年2月に佐賀市から要請書が出ていた。今回、熱意をもって具体的な形として見せられ、佐賀市と根詰めて進めることになった。

S T S / 9月議会に関連する予算や議会への説明をどう考えているのか。

知事 / これから、県と市で具体化に向かって進む。早い開学を目指して作業を進める。

S T S / 佐賀駅からの通学をどう想定しているか。

知事 / 佐賀駅から15分程度だから、徒歩や自転車になるかと。これは、まさにまちづくり。通学路も含め検討する。

時事通信 / 現段階での整備に係る事業費は？

知事 / 200億円以内で収めるよう準備したい。

時事通信 / 県議会に設置の可否判断をお願いするのはどのタイミングか。

知事 / 議会には丁寧な議案を出し、判断を仰ぐ。

読売新聞 / 13市町30か所以上の中から、段階的に減らして行って、最終的に決定した

のか、それとも、約 30 か所を並べた中から、今回のプランを選んだのか。決まるまでのプロセスを教えてください。

知事／大学としての土地を考えると、いくつかの案が残った。そこから、今回の施設機能を考えていく中で絞られてきた。市町から出なかった民有地の調査も重ねたが、最後の1か月は佐賀市との調整の中で、総合庁舎で一致した。

読売新聞／施設の移転や改修といった、今後のスケジュールを教えてください。

知事／場所が決まったので、これから徐々に見えてくるだろう。

読売新聞／周辺の市街地への効果、期待する部分は？

知事／学生が集まる場所は活気がある。南側に佐賀大学、鍋島キャンパスと県立大学が北側に立地すると、学生は面的に活躍できる。周囲には様々な施設もあり、波及効果の期待が持て、町全体が活気づく。少子化の時代だからこそ、若い世代が佐賀に根づき、佐賀で働く担い手になってもらうと、高齢化社会を支える大きな力になる。

佐賀新聞／佐賀市を選んだ理由を詳しく話してほしい。

知事／大学との連携、コンパクト化を議論する中、県都佐賀市のイメージが大きくなった。他の市町で全てを満たすことは難しい。地元のパッションがあって、いい大学ができる。佐賀市のパッション、県はミッション・アクションをやる。佐賀市から具体的な話が出て、推進力になった。

佐賀新聞／設置場所を7月中に決定するとしたのは、28年度の開学を目指す上で、スケジュールのひっ迫感があったからか。

知事／そうではない。早く決めないと前に進まない。場所は、一長一短ある。これを考え始めるといつまでも決まらない。開学の時期とは関係ないが、7月と決めた。

7月に発表はできたが、ここから具体的に課題が出てくる。それを精査していきたい。

佐賀新聞／敷地面積 1.4 ヘクタールは、設置基準で1学年 300 人。入学定員の考え方は？

知事／3,000 人が県外に出ている。佐賀県立大学は、半分が県外からの学生になるだろう。仮に定員 300 人とすると、県内からは 150 人程度、流出全体の 5%。もっと多くの人に県立大学で勉強してもらいたいが、最初はスモールスタートでいく。1人1人にきめ細やかな対応で学生を大事にしたい。

西日本新聞／“新しい”という観点からの県立大学の設置場所の意味とは？

知事／フィンランドでは小学生が大学にいて、将来自分が勉強することや、それが何

に役立つかを知っている。勉強が実社会とつながることが大事。県立大学では、学びながら社会貢献や働く価値などの問題意識を育てていく。日本では、小学校・中学校・高校・大学をそれぞれの段階で通う学校を選び、進学そのものが目的になることもある。

自分の人生が向上し、社会全体が向上するために、大学は存在すべき。今までの日本にないシステムを作りたい。熱意ある先生と子どもたちで、ロケットスタートしたい。

西日本新聞／県立大学には、グラウンドやホールがない。佐賀市文化会館や SAGA アリーナを使う前提か。

知事／今は箱物だけの大学も多い。市民団体と大学生が、一緒に様々なプログラムに取り組む市民開放型もある。昔とは違い、体育が必修ではない。大学像が変化したならば、これからの未来を見据え、最新型の学習ができる大学をつくりたい。

西日本新聞／6月19日の議会で、「7月中に決める」と答弁したのは、佐賀市の提案があったからか。

知事／その時点で佐賀市からの話はなかった。期限を設けてスケジュールに区切りをつけなければ、前に進めないと考えたから。

毎日新聞／佐賀市の提案に、文化会館の活用があったのか。

知事／周辺環境も含めての協力体制の一つに、文化会館の活用があった。ホールも大中小あり、距離も近いので、空いている場合は使わせてもらえる。公開講座やセミナーでの利用を考えている。

毎日新聞／佐賀市の提案は、設置場所ではなく周辺の話だったのか。

知事／もともとは、違う場所の提案があった。6月は、協力できる様々なアイデアが出され、想定事例ごとに協力体制が提案された。そこまで考えて、地元としての受皿や協力姿勢があったので、この場所に決めた。

毎日新聞／文化会館の活用の話もあり、総合庁舎になったのか。

知事／文化会館が全てではない。そこを含め、通学路や周辺環境の整備等で佐賀市の全面協力を得られるのは心強い。グラウンドはないが、周辺にサンライズパークをはじめスポーツ施設もある。学生の拠点には良い場所。

毎日新聞／9月議会で、関連予算や議案の提出はあるのか。

知事／これから問題点の検討、調査を行う。問題点が解消され、設計段階に入れそう

なら予算を出したい。9月に間に合うか検証する。

毎日新聞／検証できれば、9月議会に設計費を計上するのか。

知事／そうなれば、うれしい。

朝日新聞／佐賀市も別の場所で提案があったのか。

知事／詳細は避けるが、別の場所での提案があった。

朝日新聞／場所に限らず、市内であれば周辺環境の整備に全面協力する、と話が進んでいるのか。

知事／そういう協力姿勢だった。ならば、いい関係で前に進められると感じた。

朝日新聞／想定している学部と名称は？

知事／理文融合型のデータサイエンスを習得し、実社会に生かせる学部。名称はこれから話し合う。

朝日新聞／候補地を誰が最終決定したのか。

知事／私が最終決定した。意見は様々でも、決断は知事がすべきだと考えている。

朝日新聞／専門家チームで候補地を事前に絞るようなプロセスはあったのか。

知事／それは依頼していない。教育方針はともかく、場所の選定は学者が考えることではない。出てきた意見をチームで集約する形ではなく、それぞれに思ったことを発言してもらい、最後は私が決断した。

記者／今回の予定地は、土地・建物も全て県の名義で、他の利害関係者はいないのか。

知事／いない。

日本経済新聞／佐賀市からの熱意ある提案がなければ、ほかの場所になったのか。

知事／いずれにしても7月中に決める努力はしただろう。地元で熱意がなければ、後がうまく進まない。それ以外の選択肢については、今日はコメントを差し控える。

日本経済新聞／今後の課題として想定していることは？

知事／まだ分からない。過程の中で想定外のことが出てくるかもしれない。一つ一つ慎重に積み上げていきたい。

日本経済新聞／大学ならば図書館は必須の設置要件。総合庁舎の跡地に図書館をつくり、セミナールームやアドミニストレイティブオフィスを置く想定か。

知事／規模はこれから検討するが、総合庁舎跡地の中につくる予定。

西日本新聞／総合庁舎の場所が、ベストではない理由は？

知事／2年前の最初の段階では、更地に自由につくるイメージだったので、既存のものを活用する「プランZ」はベターな案だった。早期に出た比較的良好な案だったが、施設機能の考え方を整理する中で、より高い評価へと変わっていった。

西日本新聞／本館と別館で校舎が2つできる。各校舎の機能は？

知事／改修する庁舎の部分は、開学のために最低限必要な事務局等を設置する。新しい校舎は、大学のミッションに基づき、学術的な校舎になる予定。

西日本新聞／周辺施設を活用したり、県内全体をフィールドにする大学の在り方は、全国的に珍しいのか。

知事／フィールドワークはあっても、地元産業とつながり協力体制を築きながら、現地での実践的な学びをメインにする考え方はあまりない。佐賀県は面積こそ小さいが、様々なものが宝箱のように詰まっている。その利点を生かし、多くの産業や福祉を巻き込み、仕事の在り方にもコミットできる大学にしたい。

日刊工業新聞／車庫と別館の部分は更地にし、大学施設として新しい建物を建てるのか。

知事／その形になる。